

## 阪神・淡路大震災エスノグラフィーの概要

### 1. 目的

災害エスノグラフィー(Disaster Ethnography)は、実際に被災した人、あるいは災害対応に従事した人にとって、災害がどのように映ったのかを明らかにすることを目的としており、災害現場に居合わせた人の視点から災害現象を系統的に整理し、災害についての理解をより深めることにより、災害現場で採用され適用されていた暗黙の原則やルールを明かにし、今後の災害対応をより効率的にすることが可能になると考えられております。

こういった観点から、弊社では京大・林教授の研究グループと共同で「阪神・淡路大震災エスノグラフィー」の構築を目指しており、(財)阪神・淡路大震災記念協会の委託を受けて、調査を実施しています。

### 2. 調査方法

インタビュー対象者と研究メンバーによるグループディスカッションを行う。

#### <研究メンバー>

リーダー：	林 春男	京都大学防災研究所教授
メンバー：	瀬尾 征男	元東京海上火災保険(株)神戸支店長
	河田 恵昭	京都大学防災研究所教授
	重川希志依	富士常葉大学助教授
	田中 聡	京都大学防災研究所助手
	青野 文江	市民防災研究所研究員

### 3. 収録方法

インタビュー内容は、録音テープ及びデジタルビデオで収録する。

### 4. 調査項目

震災からの復旧、復興において、各界の指導的立場にあった方々の体験、考え方、想いを自由に語っていただき、今後の危機管理における指揮官にとっての教訓を引き出す。インタビュー形式は構造化せず、以下の4つの問いをきっかけとして自由な発言をもとめる。

- (1) 次の災害の時に、絶対やるべきこと
- (2) 次の災害の時には、工夫してもっと上手にすべきこと
- (3) 次の災害の時には、絶対にしてはならないこと
- (4) 意思決定の際、一番難しかったこと

### 5. 報告書

インタビューは、一冊の報告書にまとめ、3月末までに記念協会へ提出する。

### 6. その他

インタビューの内容は原則として、30年間は非公開とし、研究資料として活用する場合には、事前に本人の了承を得ることを条件とする。

7. インタビューに御協力頂いた方々

1998年度

元NHK神戸支局長 塩見 薫氏  
生田神社 宮司 加藤隆久氏  
神戸市震災復興本部総括局 参事 竹部元造氏 (ご在職当時)  
神戸市入居促進センター生活再建本部 次長 桜井誠一氏 (ご在職当時)  
月刊 神戸っ子 取締役編集長 小泉美喜子氏  
中央実業(株) 取締役社長 林 同春氏

1999年度

元日銀神戸支店長 遠藤勝裕氏  
(株)ノーリツ 代表取締役会長 太田敏郎氏  
オリバーソース(株) 代表取締役社長 道満雅彦氏  
元甲南大学理事長 小川守正氏  
(株)ポートピアホテル 取締役相談役 中内 力氏  
神戸市生活再建本部の皆様

2000年度

(株)東京海上研究所 理事長 下河辺 淳氏  
日本毛織株式会社 取締役社長 富田勇一氏  
兵庫県被災者連絡会 会長 河村宗治郎氏  
元阪神電鉄株式会社鉄道本部長 飯塚 卓氏  
前兵庫県医師会長 瀬尾 攝氏

2001年度

ダイエー創始者 中内 功氏  
神戸商工会議所名誉会頭 牧 冬彦氏  
前兵庫県知事 貝原俊民氏  
アーティスト・C.A.P.代表 杉山知子氏  
被災地NGO協働センター代表 村井雅清氏

2002年度

前神戸市長 笹山幸俊氏  
前兵庫エフエムラジオ放送社長 小樽雅章氏  
元国務大臣 小里貞利氏  
内閣官房都市再生本部事務局企画官 佐々木晶二氏  
元内閣総理大臣 村山富市氏

2003年度

元副総理 後藤田正晴氏

元内閣官房副長官 石原信雄氏

内閣官房副長官 古川貞二郎氏

元内閣官房長官 五十嵐広三氏

以 上